

『自ら考え、話し合い、行動する児童を育てる』 指導略案

- 1 日 時:令和8年6月25日(木) 2校時(9時35分～10時20分)
- 2 教 科:学級活動
- 3 ねらい:学校全体からネガティブ発言を減らすために、自分ができることを考え、取り組むことができる。
- 4 本時の展開:

○:主な学習活動【4つの視点】 T:主な発問 C:予想される児童の反応	□…指導上の留意点 ☆…評価
○学級内にあるネガティブ発言の現状を確認する。【発見】 C:自分たちが考えた学級目標を達成するためには、もっと意識してい なくちゃいけないことがあると思います。 C:ネガティブ発言を減らしていなくちゃと思います。 ○学級からなくしたい言葉を考える。 T:みんなは、どんな言葉をなくしていきたいと思っていますか？ C:「ださい」です。 C:「『はっ?』という言葉」です。だって、言われたら、いやな気持ちにな るからです。 C:「きもい」という言葉だって、言われたくない言葉だからです。 C:「そんなの知らないの?」という言葉も相手を傷つけてしまうかも しれないです。 T:これらの意見から、まずは意識してやめていこうと思う言葉を決め ましょう。 C:「きもい」がいいと思います。だって、相手を傷つけることになってし まうからです。 C:「『はっ?』という言葉」を意識した方がいいと思います。相手をバカ にしているように聞こえると思うからです。 T:「きもい」と「はっ」を比べてみると、どうでしょうか？ C:まずは、「きもい」という言葉を意識した方がいいと思います。 T:では、学級目標を達成するための行動目標として、を意 識していきましょう。	□ICTを活用して、児童の意見や考え を提示することで、視覚的にとらえ られるようにする。 □意見が出ない場合など、必要に応 じて小グループで相談する。 □児童の想いや気持ちを大切に、納 得感をもたせながら合意形成を図 っていく。
○学校(十小)からネガティブ発言を減らすための方策を考える。 T:ちなみに、6年生のみなさん、学校のリーダーとして考えてみると、 府中十小の現状はどうでしょうか。 C:他のクラスもネガティブ発言が飛び交っていると思う。 C:1年生(低学年)に、学校のルールやマナーを教えていきたい。 T:なるほど。十小から、ネガティブ発言を減らすために、最高学年とし てできることがあるはず。1年生のお世話も一生懸命やってくれて いたみんななら、いったい、どんな活動を実践できるでしょうか。	□理想論や机上の空論にさせないた めに、今日までリーダーとして頑張 ってきたこと(1年生のお世話)を振 り返らせることで、課題を自分事と してとらえられるようにしたい。
○話し合い(学級会)をする。【対話】 ①司会グループを紹介する。 ②議題を確認する。	□事前に、司会グループと話し合いの 流れを打ち合わせておく。 □学級会の形(コの字)にして全員の 顔が見えるように話し合う。
【議 題】「十小から、ネガティブ発言を減らすために、6年生である自分ができることは？」	

③下級生のために、どんなことができるのかを考える。 C:「ポスター」を作る。 C:「スライド」にして紹介してみたいです。 C:「呼びかけ」もできると思います。 C:放送朝会で「放送」する。 ④出された意見を比べ合い、実践するイメージを膨らませる。 ・出された意見に対して質問をする。 ・出された意見の良さ(メリット)を伝える。 C:「呼びかけ」はどういうことですか？ C:下級生に、直接、呼びかけるということです。 C:「呼びかけ」は、例えばどういう風に実践していきますか？ C:例えば、低学年の教室に直接言って伝えることもできると思います。 C:スライドで作るメリットは、なんですか？ C:下級生の子も見てくれることです。 ⑤出された意見の中から、自分が本当に実践できそうな(取り組みそうな)活動を選択する。 ⑥決まったことを確認する。	□意見が出ない場合など、必要に応じて小グループで相談する。 □司会グループに学級会を進行させながら、進め方のポイントがある時には、その都度助言をしていく。 □以下のようなときは助言する。 ・生活指導上、人権上問題のあるとき ・自治的範囲を超えたとき ・ねらいから大きくそれたとき ・話合いが混乱したとき ・規律が乱れたとき ・児童の伝え方が不十分なとき □一緒に活動する「人」ではなく、自分が「おこないたい活動/内容」で決めるように促す。 ☆学級生活をよりよくするために、すすんで課題を考えたり、選んだりしようとしている。(観察)
○自分が選んだ活動の準備をする。【決定・表現】 ・活動グループの確認をする。 ・グループで集まり、具体的な実践内容について相談する。 (どのように、いつ、どこで、誰が)	☆自分が取り組む活動の目的を意識しながら、友達と活動に取り組んでいる。(観察)